

# ミラーキャビネット ピアラ・MK1X4シリーズ

MAR2-601/751/901XJU(-G) MAR2-602TXS(U)(-G) MAR2-753/903TXJ(U)(-G) MAR2-753/903KXJ(U)(-G)  
 MAR2-753/903TXS(U)(-G) MAR2-753/903TXJ(U)(-G) MAR2-753/903KXJ(U)(-G)  
 MAR3-501TXJ(U)(-G) MAR3-501TYJ(U)(-G) MAR3-753/903TXJ(U)(-G) MAR3-753/903KXJ(U)(-G)  
 MAR3-753/903TXJ(U)(-G) MAR3-753/903TXJ(U)(-G) MAR3-753/903KXJ(U)(-G)  
 MK1X4-501TXJ(U)(-G) MK1X4-501TYJ(U)(-G) MK1X4-602TXS(U)(-G) MK1X4-501TYJ(U)(-G)  
 MK1X4-602TXS(U)(-G) MK1X4-753/903TXS(U)(-G) MK1X4-753/903TXJ(U)(-G) MK1X4-753/903KXJ(U)(-G)



## 取付業者さまへお願い

- 取付けに関しては、必ずこの取付説明書に従い正しく取り付けてください。  
 ※この取付説明書に記載されていない方法で取り付けされ、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保障を致しかねますので、十分ご注意ください。  
 ※水栓金具、電気温水器、即湯システムについては、それぞれに同梱の説明書に沿って正しく取り付けてください。
- 同梱の取扱説明書は取付完了後、必ずお客さまにお渡しください。  
 ※保証書（取扱説明書裏表紙）に貴店名、取付日を忘れずにご記入ください。
- 取付業者さまは、商品に欠陥を生じさせる可能性を有しているゆえに、取付業者さまが欠陥を生じさせた場合は過失責任を負うことを十分認識いただき、お客さまが安全で快適にご使用できるようにご協力ください。

## 安全のために必ずお守りください

●ここでは取付けに際して守らないと人身事故や、家財の損害に結びつく注意事項を挙げています。取付前にこの項目をよくお読みいただき、正しく取り付けてください。

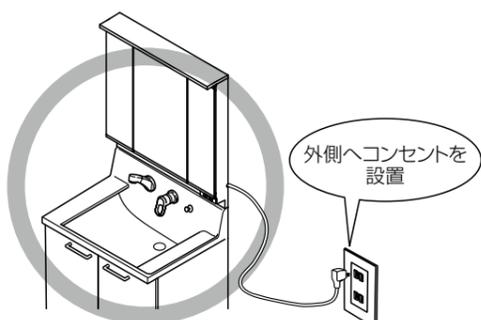
### ●用語および記号の説明

<b>警告</b>	取付けを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
<b>注意</b>	取付けを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。
	「してはいけません!」 (一般的な禁止記号です。)
	「分解してはいけません!」
	「指示通りにしなさい!」 (一般的な行動指示記号です。)

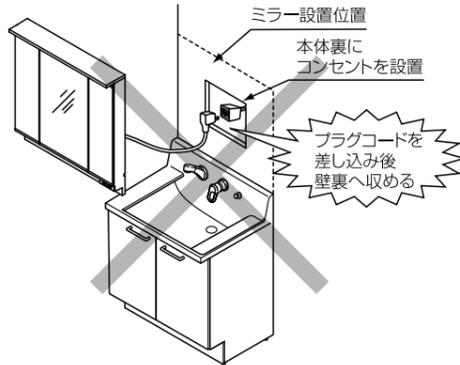
## 警告

- 電気工事は電気設備技術基準、内線規程など関連する法令・規定に従って必ず電気工事士の資格を有する者が適切な方法で行う。  
 ※無資格者の工事や、電気工事士による不適切な工事は、火災や漏電の原因になります。
- 電気工事は必ず分電盤のブレーカーを切って行う。  
 ※感電の恐れがあります。
- 改造や修理技術者以外による分解・修理を行わない。  
 ※火災、感電、ケガ、故障の恐れがあります。
- 電源は必ず適正配線された交流100Vコンセントを単独で使用する。  
 ※AC100V以外を使用すると火災、感電、ケガ、故障の恐れがあります。
- コードなど各配線を傷つけない。  
 ※無理に曲げる、力を加える、束ねる、重いものを載せる、挟み込むなど傷つくと火災、漏電、故障の恐れがあります。
- 電源は必ず専用の回路を設け、110V、15A または、20A の過電流遮断器の設置された回路と接続する。  
 ※火災などの恐れがあります。
- 標準タイプ(電源プラグ付きコード仕様)の場合、電源用コンセントは本体の裏側に設置しない。  
 ※本体の裏面など容易に点検・確認ができない場所にコンセントを設けるとホコリや湿気などで、万トラッキングが発生した場合に火災の恐れがあるため、お勧めできません。

### 正しい取付例 本体の外側へコンセントを設置

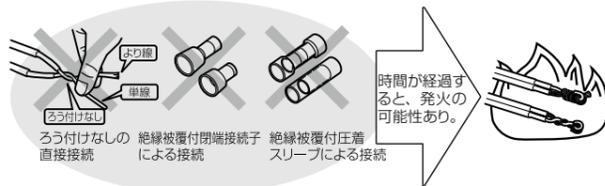
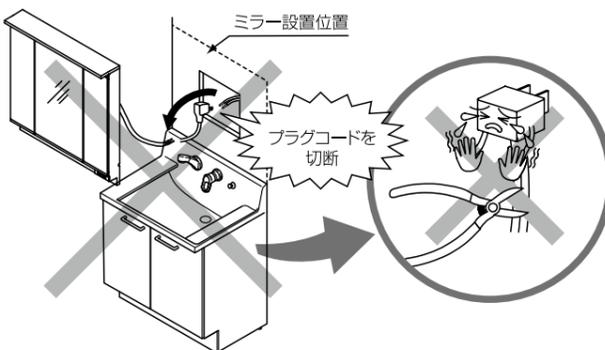


### 不適切な取付例 本体裏にコンセントを設置



標準タイプ(電源プラグ付きコード仕様)のコードの切断や取り外して直結接続をしない。  
 ※不適切な接続は火災、漏電、故障の恐れがあります。  
 ※標準タイプから電源プラグ付コードを取り外すと、渡りコードが緩み、発熱、発火の恐れがあります。  
 ※直結接続の場合は、必ず直結配線タイプの商品にて接続をしてください。

### 不適切な取付例



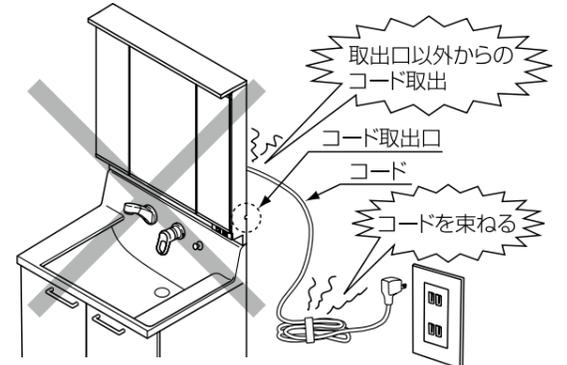
●コード線を束ねたまま使用しない。  
 ※コードが発熱し、火災の恐れがあります。

●電源プラグ付きコードは、取付方法に記載された指定箇所より取り出し、キャビネット本体と壁の間に挟み込まないようにする。  
 ※鏡や扉のゆがみなど商品に悪影響が生ずる恐れがあります。  
 ※挟み込まれたコードから火災、漏電、故障の恐れがあります。

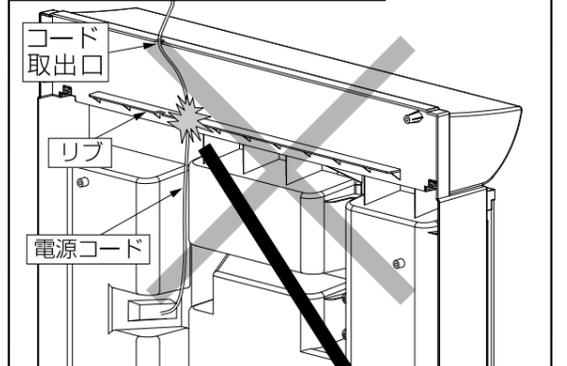
### 正しい取付例



### 不適切な取付例



### ミラーキャビネット裏面



※コードを壁とリブの間に挟みこむと製品にゆがみが発生し、扉のゆがみなど、商品に悪影響を及ぼす恐れがあります。

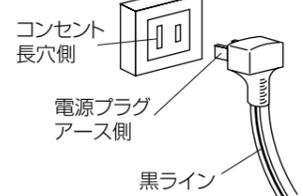
●直結配線タイプの場合、電源線 [VVF (単線)、φ1.6mm、またはφ2.0mm] を取り出すときは、バリ取りを行ったφ30~50の穴より取り出す。  
 ※火災、感電の恐れがあります。

●電源線 [VVF (単線)、φ1.6mm、またはφ2.0mm] は規定の寸法を守って加工する。  
 ※寸法を守らないと火災、感電の恐れがあります。(VVF (単線)はφ1.6mmも使用可能ですが、できるだけφ2.0mm をご使用されることをお勧めします。)

●電源プラグを抜くときは必ずプラグ本体を持つ。  
 ※コード部分を引っ張るとプラグやコードが破損し、火災や感電の恐れがあります。

●電源プラグをコンセントに接続する際は、周辺のココリなどを取り除いて隙間がないように奥まで接続する。  
 ※ホコリなどがついているとトラッキング現象による火災の恐れがあります。

●電源プラグは、アース側の刃(コードの黒ライン側)をコンセントの長穴に差し込む。  
 ※逆向き接続は照明交換時に感電の恐れがあります。



●浴室内などの高温多湿場所へは設置しない。  
 ※感電や漏電の恐れがあります。

# お願い

- 直射日光やスポット照明、殺菌灯が直接当たる場所に放置しない。  
※変色や変形の原因になります。
- 酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類・ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコールなどの溶剤や油類を使用して、キャビネットを拭かない。  
※変色や変形、ヒビ割れを起こす恐れがあります。
- 壁面工事や建築仕上げ工事に使われる溶剤・接着剤・洗剤・テープ類・その他の薬品類は、容器などに記載の注意事項に従って使用する。  
※人体への悪影響や、使用部材の劣化、破損の原因になります。

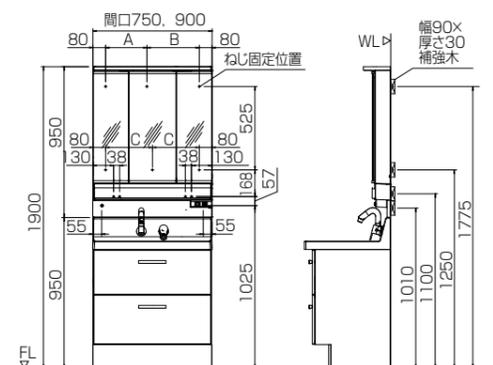
## ■寸法図

(単位:mm)

### MAR2・MAR3・MK1X4シリーズ-3面鏡 (全収納タイプ、スマートポケット付)

MAR3-753KXJU(-G), 903KXJU(-G)  
MAR2-753TXJU(-G), 903TXJU(-G)  
MK1X4-753KXJU(-G), 903KXJU(-G)

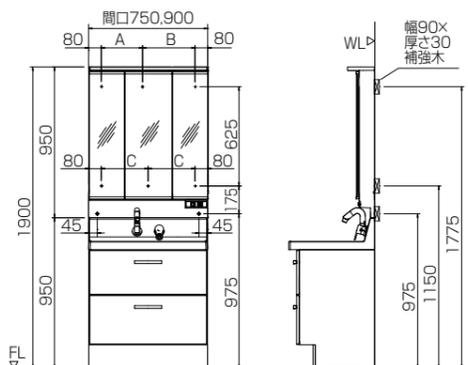
間口	A	B	C
750	-	-	-
900	335	405	370



### MAR2・MAR3・MK1X4シリーズ-3面鏡 (全収納タイプ)

MAR3-753TXJU(-G), 903TXJU(-G)  
MAR2-753TXJU(-G), 903TXJU(-G)  
MK1X4-753TXJU(-G), 903TXJU(-G)

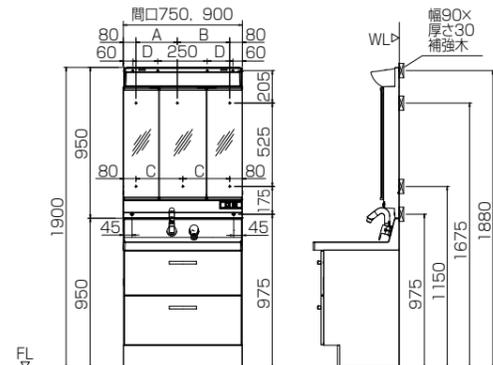
間口	A	B	C
750	-	-	-
900	335	405	370



### MAR2・MK1X4シリーズ-3面鏡 (全収納タイプ)

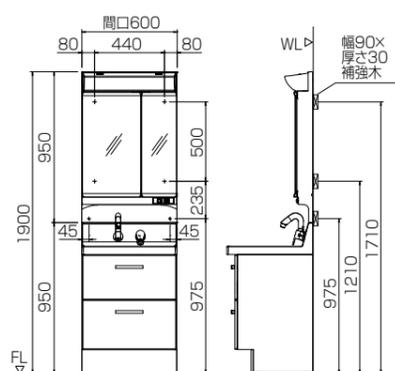
MAR2-753TXS(U)(-G), 903TXS(U)(-G)  
MK1X4-753TXSU(-G), 903TXSU(-G)

間口	A	B	C	D
750	-	-	-	190
900	335	405	370	265



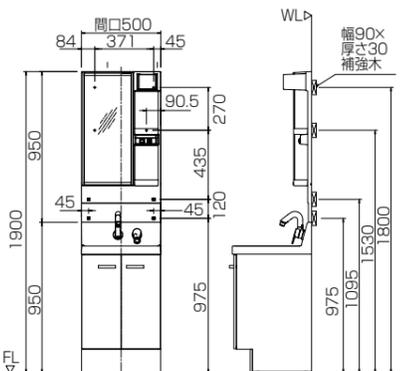
### MAR2・MK1X4シリーズ-2面鏡 (全収納タイプ)

MAR2-602TXS(U)(-G)  
MK1X4-602TXSU(-G)



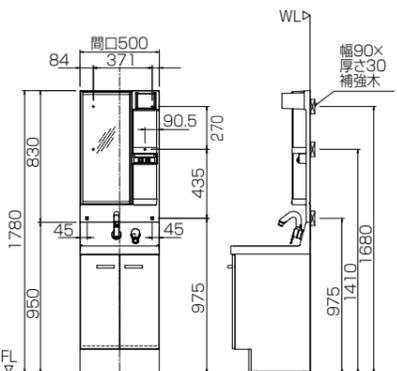
### MAR3・MK1X4シリーズ-1面鏡 (収納付タイプ)

MAR3-501TXJ(U)(-G)  
MK1X4-501TXJU(-G)



### MAR3・MK1X4シリーズ-1面鏡 (収納付タイプ)

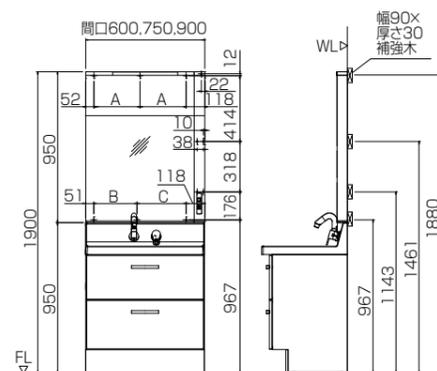
MAR3-501TYJ(U)(-G)  
MK1X4-501TYJU(-G)



### MAR2シリーズ-1面鏡 (大型鏡タイプ)

MAR2-601XJU(-G), 751XJU(-G)  
901XJU(-G)

間口	A	B	C
600	215	236	195
750	290	261	320
900	365	336	395



## ■付属部品

(内容と数量が合っていることを確認してください。)

### ◆MAR2・MAR3・MK1X4シリーズ-3面鏡(スマートポケット付)

品番	MAR3-753KXJU(-G) MAR2-753KXJU(-G) MK1X4-753KXJU(-G)	MAR3-903KXJU(-G) MAR2-903KXJU(-G) MK1X4-903KXJU(-G)
バックパネル	1	
バックパネル固定用ねじ (平頭φ4.0×60mm)	各2	
キャップ		
本体固定ねじ (平頭φ4.5×60mm)	各4	各6
化粧キャップ		
スマートポケット引掛け金具	2	
スマートポケット引掛け金具用ねじ (トラスφ4.0×30mm)	4	

### ◆MAR2・MK1X4シリーズ-3面鏡・2面鏡 (全収納タイプ)

品番	MAR2-602TXS(U)(-G) MK1X4-602TXSU(-G)	MAR2-753TXS(U)(-G) MK1X4-753TXSU(-G)	MAR2-903TXS(U)(-G) MK1X4-903TXSU(-G)
本体固定ねじ (平頭φ4.5×60mm)	各6	各6	各8
化粧キャップ			
照明部固定ねじ (トラスφ4.0×50mm)	-	4	4

### ◆MAR3・MK1X4シリーズ-1面鏡 (収納付タイプ)

品番	MAR3-501TXJ(U)(-G) MK1X4-501TXJU(-G)	MAR3-501TYJ(U)(-G) MK1X4-501TYJU(-G)
本体固定ねじ (トラスφ4.0×50mm)	各8	各6
化粧キャップ		
照明カバー	1	1
LED電球	1	1

### ◆MAR2・MAR3・MK1X4シリーズ-3面鏡(全収納タイプ)

品番	MAR3-753TXJU(-G) MAR2-753TXJU(-G) MK1X4-753TXJU(-G)	MAR3-903TXJU(-G) MAR2-903TXJU(-G) MK1X4-903TXJU(-G)
本体固定ねじ (平頭φ4.5×60mm)	各6	各8
化粧キャップ		

### ◆MAR2シリーズ-1面鏡 (大型鏡タイプ)

品番	MAR2-601XJU(-G)	MAR2-751XJU(-G)	MAR2-901XJU(-G)
上部ジョイナー(LED照明付)		1	
下部ジョイナー		1	
コネクタカバー		1	
スイッチバー		1	
スイッチバー上部キャップ		1	
上部キャップ固定ネジ (トラスφ4.0×25mm)		1	
スイッチバー引掛け金具		2	
スイッチバー固定ねじ (トラスφ4.0×30mm)		5	
上部ジョイナー固定ねじ (皿φ4.0×50mm)		3	
下部ジョイナー固定ねじ (皿φ4.0×30mm)		3	
サイドモール		1	
型紙		1	

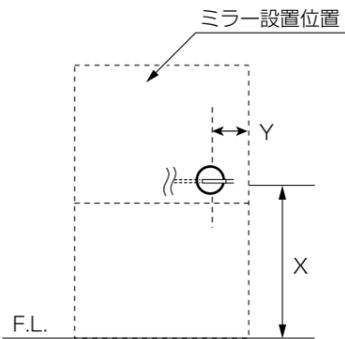
# 取付前の確認

## 1. 電源の確認

### 警告

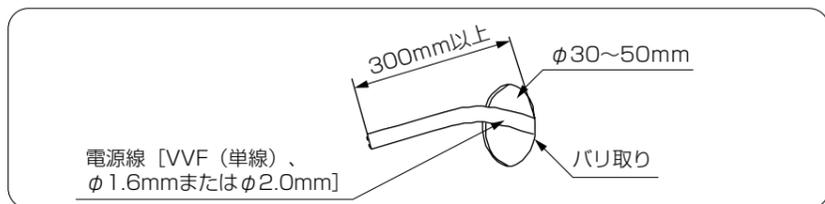
〈直結配線タイプ(品番末尾「-G」の場合)〉

- 取付前にあらかじめ下記の所定位置に電源線[VVF(単線)、φ1.6mmまたはφ2.0mm]が取り出していることを確認しておいてください。



品番	直結配線位置	
	X	Y
MAR3-753TXJU-G	1260	175
MK1X4-753TXJU-G		
MAR3-903TXJU-G		
MK1X4-903TXJU-G		
MAR2-753TXJ(U)-G	1360	175
MAR2-903TXJ(U)-G		
MAR3-753KXJU-G		
MK1X4-753KXJU-G		
MAR3-903KXJU-G	1260	175
MK1X4-903KXJU-G		
MAR2-753KXJ(U)-G		
MAR2-903KXJ(U)-G		
MAR2-753TXS(U)-G	1400	155
MK1X4-753TXSU-G		
MAR2-903TXS(U)-G		
MK1X4-903TXSU-G		
MAR2-602TXS(U)-G	1465	200
MK1X4-602TXSU-G		
MAR3-501TXJ(U)-G		
MK1X4-501TXJU-G		
MAR3-501TYJ(U)-G	1345	
MK1X4-501TYJU-G		
MAR2-601XJU-G	1220	35
MAR2-751XJU-G		
MAR2-901XJU-G		

- 電源線の有効長さが300mm以上であることを確認してください。
- 穴あけした端部のバリがとってあり、電源線を傷つけないような状態であることを確認してください。  
※端部のバリがあると電源線を傷つけ、火災・感電の恐れがあります。



〈標準タイプ(電源プラグ付コード仕様)の場合〉

- 電源コンセントの位置は、電源プラグ付コード(1m)の届く範囲で、床面より高く水のかからない場所に設定してください。

## 2. 壁面工事の確認

### 警告

取付強度を保てない場合、キャビネットが落下してケガをする恐れがあります。下記事項が守られていることを事前に確認のうえ、取付けを行ってください。

- この説明書に記載されている「キャビネットを取付可能な壁面」以外には、取り付けしないでください。記載の条件を満たさない場合は、壁を施工しなおしてください。
- 壁の不陸が5mm/2mを超える場合は、必ず壁を施工しなおしてください。
- 壁固定ねじは指定のものを、指定本数使用してください。

〔乾式壁の場合〕

- 幅90mm×厚み30mm以上の補強木を「ねじ固定位置」(P.1寸法図 参照)に必ず設けてください。
- 補強木は必ず柱・間柱・縦桟木など、建築躯体に固定してください。また、補強木の固定部材は、キャビネットの固定強度(図1 乾式壁 参照)と同等以上になるよう、種類・数を選定してください。
- 壁固定ねじを補強木に届かせるため、壁仕上げの総厚さは12.5mm以下にしてください。
- 壁面に補強木が取り付けられない場合  
取付壁全面に厚み12mm以上のJAS規格品合板を強固に取り付けてください。  
〔建築工事〕

〔湿式壁の場合〕

- コンクリートブロック壁の場合、中空部はモルタル詰めしてください。
- AYボルトを壁本体に届かせるため、壁仕上げの総厚さは20mm以下にしてください。
- 壁固定ねじに合ったAYボルトを使用して、キャビネットを取り付けてください。

## キャビネットを取付可能な壁面

図1 乾式壁

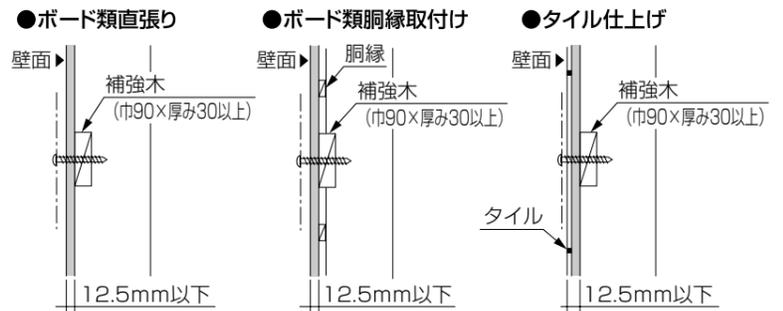
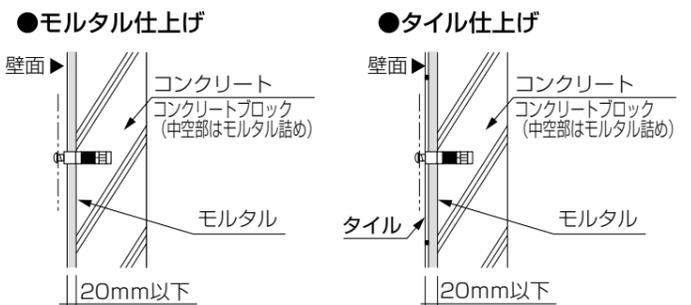


図2 湿式壁



※本文中のねじ固定に関する記載は、乾式壁の場合についてです。湿式の場合は、下記要領で固定を行ってください。

〈湿式壁の場合の取付方法〉

- ①AYボルトの位置を確認し、位置出しをします。
- ②壁にφ7.5mm、深さ60mm以上の下穴をあけ、切粉をよく取り除きます。(K付品番のバックパネル取付穴2ヶ所はφ6.0mm、深さ50mm以上で下穴を開けてください。)  
※下穴は電動ドリルを使用し正確にあけてください。
- ③AYボルトを挿入してゴム筒を押さえてボルトを抜き取ります。
- ④キャビネットを壁面に当て、ねじ穴からボルトで固定をします。(K付品番のバックパネル取付はプラグを差し込んだ後、同梱の平ねじを使用してください。)

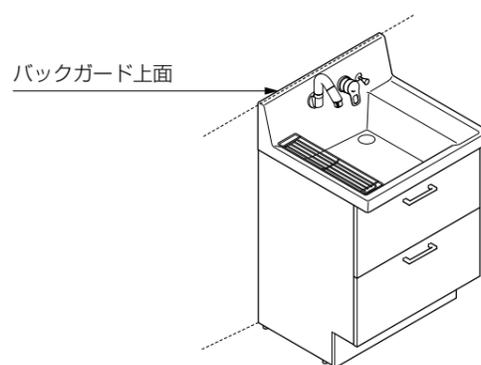
(別途手配品)

取付箇所のねじ頭にあった形状のボルト・プラグ手配をお願いいたします。  
※取付箇所のねじ頭形状は1ページの付属部品をご覧ください。

品名	品番	内容
皿ねじ用AYボルトセット	#KB-4X60SC(A Y)	皿AYボルト(φ4X60mm)2本 連結ワッシャー 2個 化粧キャップ 2個
トラスねじ用AYボルト	#KB-4X60T(A Y)	トラスAYボルト(φ4X60mm) 2本
平ねじ用プラグ	#MIL-T8	プラグ 2個

## 3. 化粧台の確認

洗面化粧台のバックガードが水平であることを確認してください。  
※水平が出ていない場合は、洗面化粧台の取付説明書をご確認ください。  
※水平が出ていない場合、ミラーキャビネットも水平に設置できません。



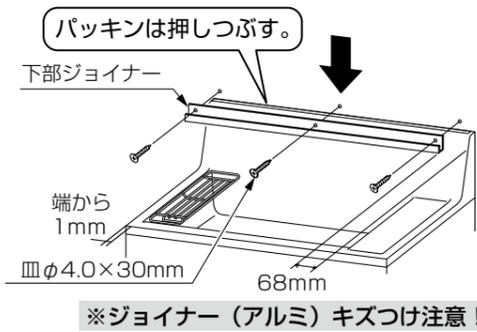
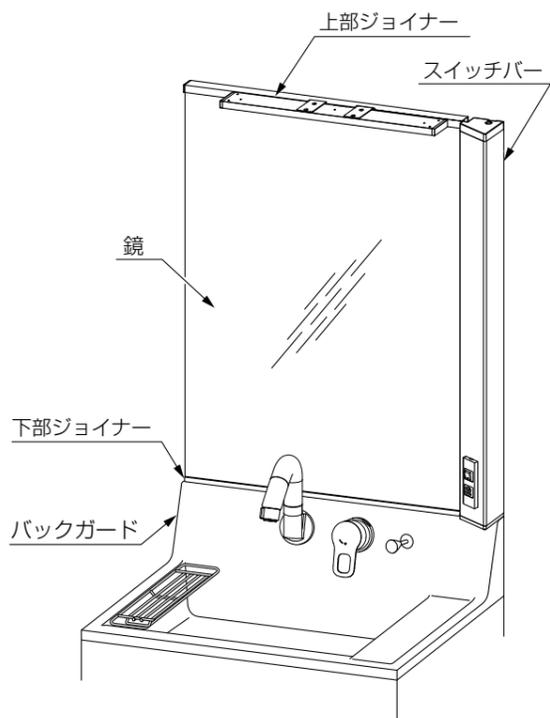
### 警告

- ミラーキャビネットは平らな壁面に取り付けてください。  
※窓などの開口のある部分や壁面から隙間をあけて取り付けるとホコリなどの推積や、ご使用される方がミラーキャビネット裏の配線に手を触れることで火災や感電の恐れがあります。

# 1面鏡（大型鏡タイプ）の取付方法

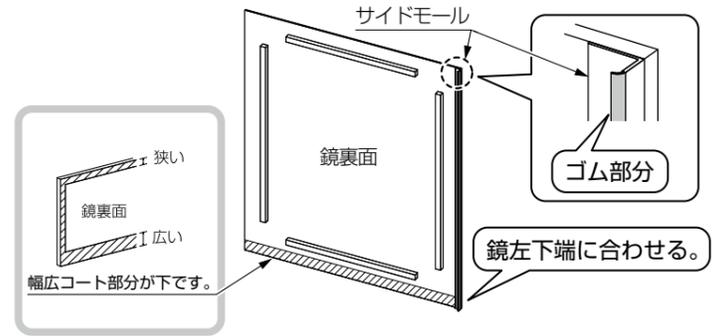
※取付けビスセットは同梱部材箱の中にあります。

## ①下部ジョイナーを壁にねじ固定する。

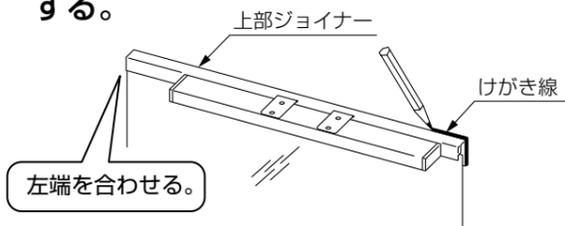


## ②鏡裏面にサイドモールを貼り付ける。

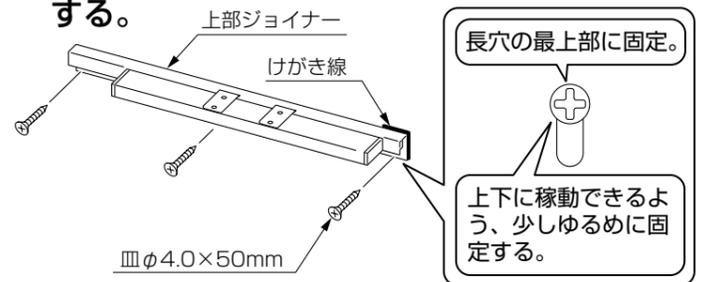
※同梱時は鏡裏面にテープで仮止めしてあります。  
※鏡裏面の幅広コーティング部が下になるようにしてください。



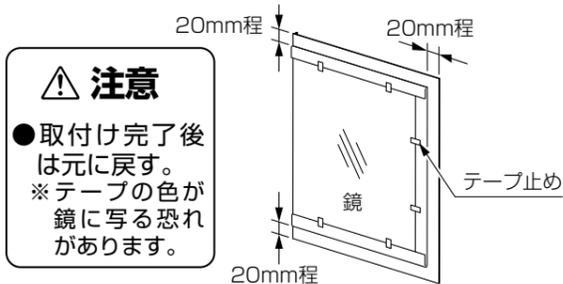
## ③鏡、上部ジョイナーを仮設置し、上部ジョイナーの固定位置をけがきする。



## ④一度鏡を外し、上部ジョイナーをねじ固定する。

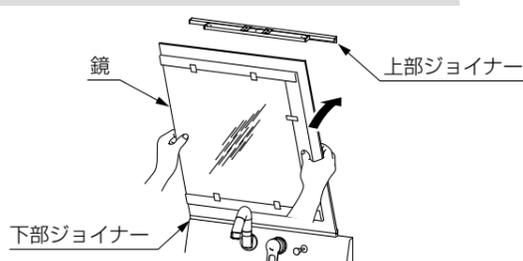


## ⑤鏡の養生シートをめくり、テープで仮止めする。

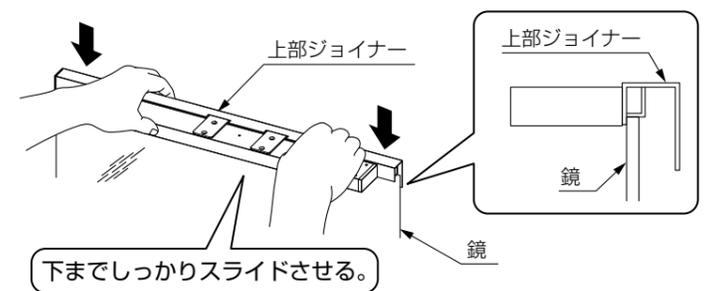


## ⑥鏡裏面のパッキン離ケイ紙をはがして壁に貼り付ける。

※一度貼り付けると、位置調整が出来ません。

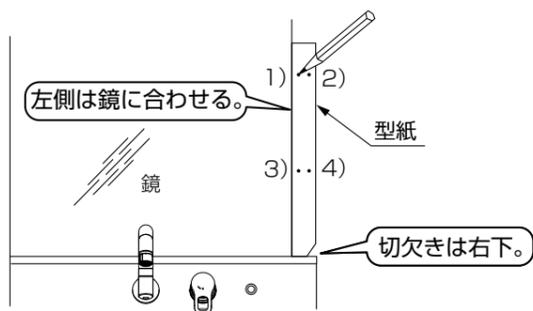


## ⑦上部ジョイナーを鏡にはめ込む。

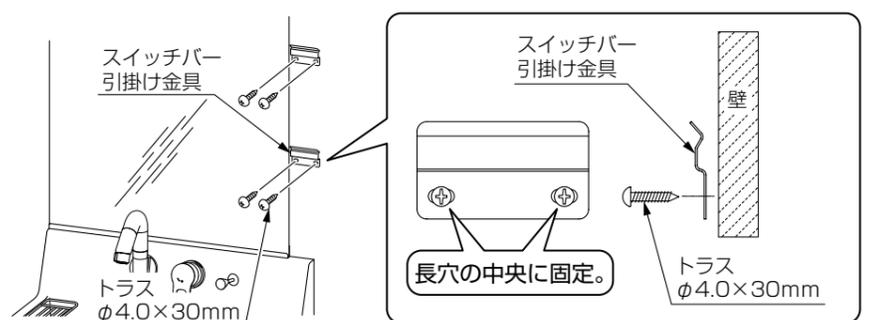


## ⑧型紙をテープなどで壁に固定して、穴位置（4ヶ所）をけがきする。

※けがき後は型紙を破棄する。

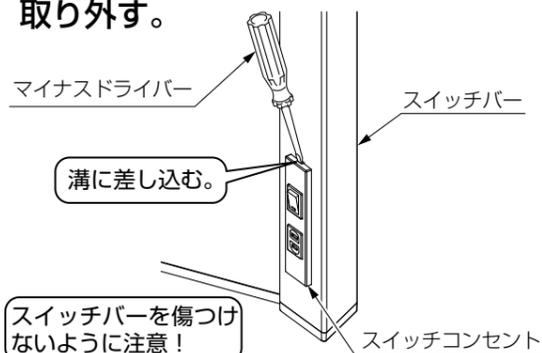


## ⑨スイッチバー引掛け金具（2個）を壁のけがき位置にねじ固定する。

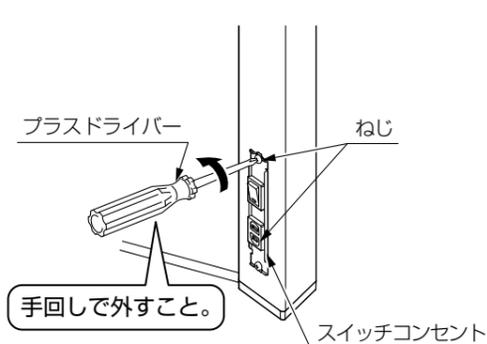


### ■直結配線タイプの場合（品番末尾「-G」）

#### ①スイッチコンセントのプレートを取り外す。



#### ②スイッチコンセントを取り外す。

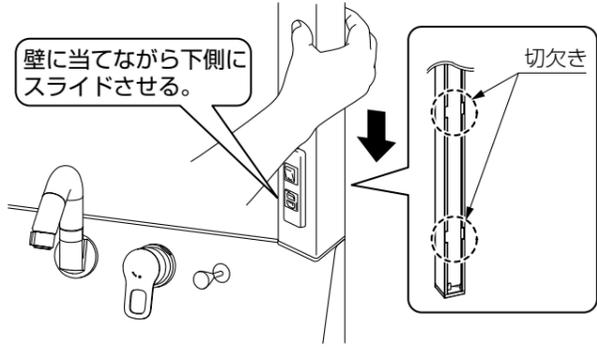


#### ③電源線を取り出す。

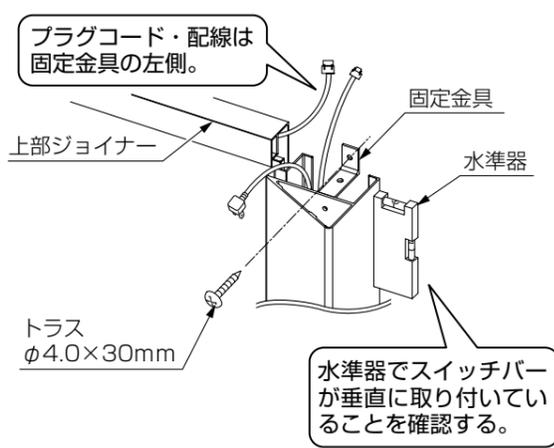
※配線されている線は抜かないでください。



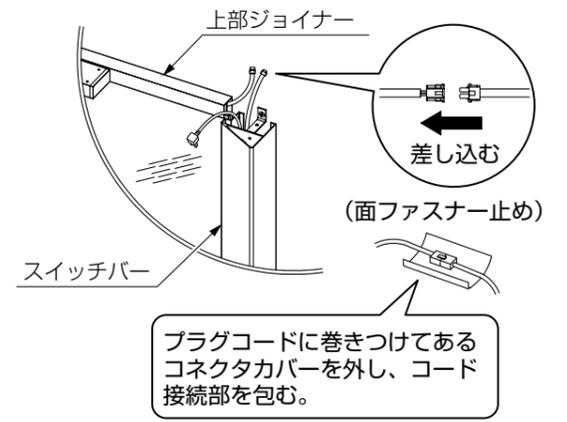
⑩スイッチバー切欠き部を引掛け金具へ落とし込む。



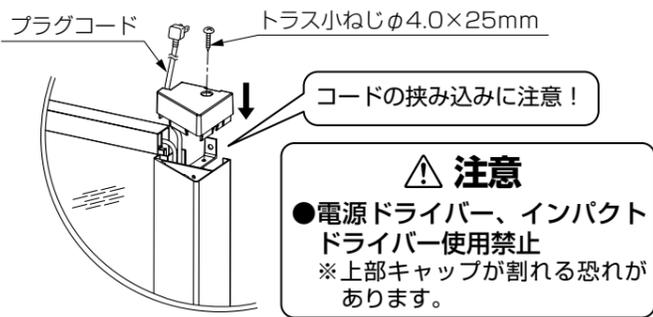
⑪スイッチバー上部の固定金具をねじ固定する。



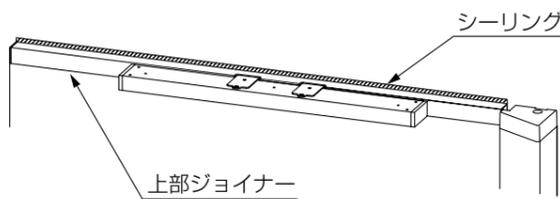
⑫コードを接続してコネクタカバーで接続部を保護し、スイッチバー内部に収める。



⑬上部キャップをねじ固定する。



⑭上部ジョイナーと壁が接する部分にシール材でシーリングする。



## 2面鏡、3面鏡の取付方法

※取付けビスセットは右収納内にあります。

### ■直結配線タイプの場合（品番末尾「-G」）

内部コンセントを取り外し、開口部から電源線を取り出してください。

※配線されている線は抜かないでください。

①プレート横の溝にマイナスドライバーを差し込んで外す。

②コンセントの左右2カ所のねじを手回しで外す。

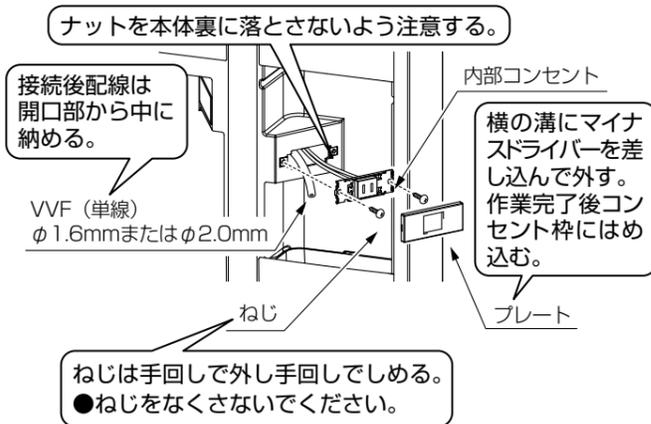
作業完了後、

③コンセントの左右2カ所のねじを手回しでしめる。

④プレートをコンセント枠にはめ込む。

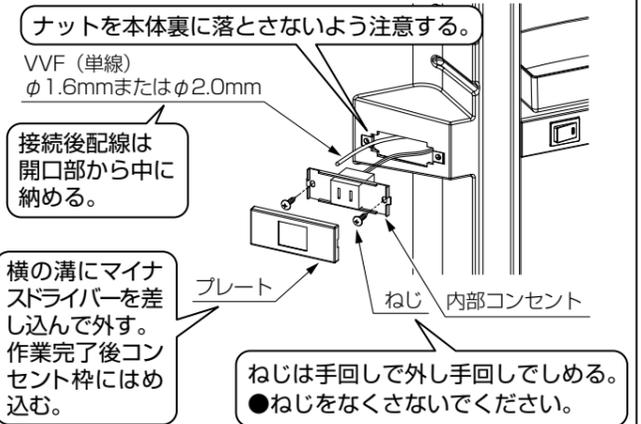
#### <2面鏡、3面鏡の場合>

※内部コンセントが2ヶ所ある場合→必ず右収納側を使用



#### <1面鏡（収納付タイプ）の場合>

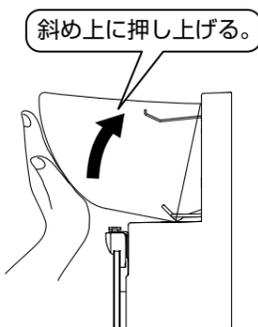
※内部コンセントを使用



### 《照明カバーの取付け方/取外し方》

#### <2面鏡、3面鏡(型番に「S」が付く場合)>

##### <取外し方法>



##### <取付方法>



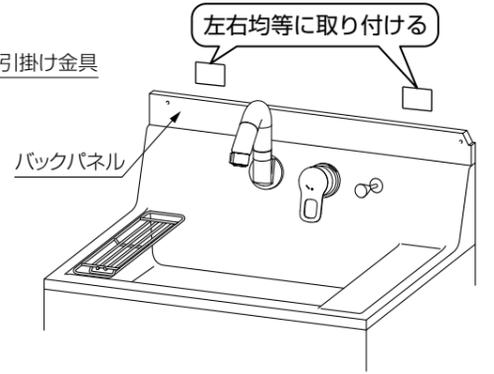
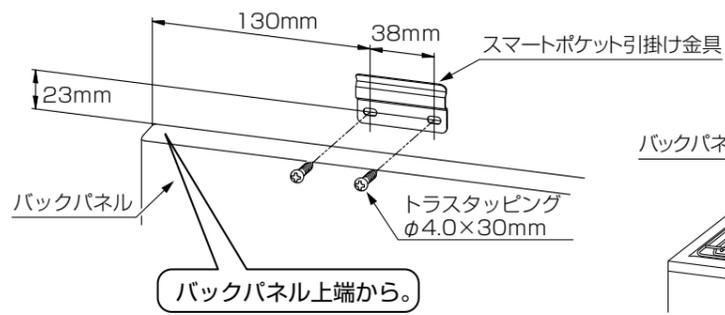
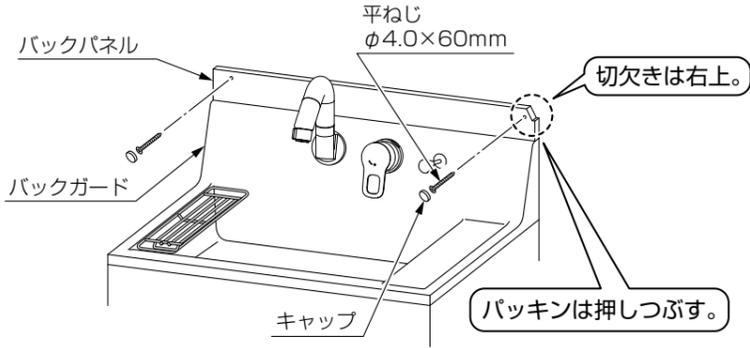
※キャビネットを設置する場合は、照明カバーを取り外してください。  
※壁設置後、再び照明カバーを取り付けてください。

**[A]スマートポケット付(MAR\*-\*\*3K、MK1X4\*-\*\*3K)⇒①へ**  
**[B]それ以外⇒④へ**

①バックパネルをバックガード上端に載せ、ねじで固定する。

②スマートポケット引掛け金具（2個）をねじで壁固定する。

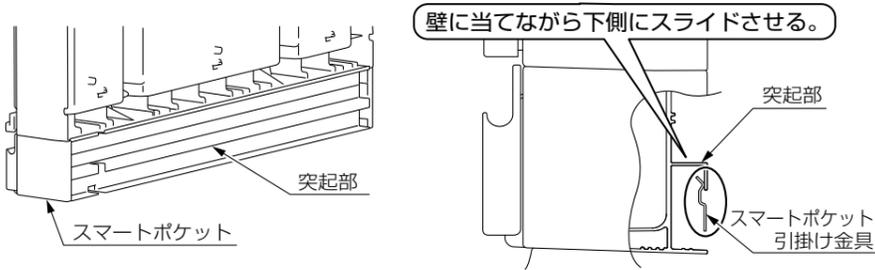
※壁補強リフォームキットを使用する場合は必要ありません。



③スマートポケット突起部を引掛け金具に落とし込み、バックパネル上面にミラーキャビネット本体を設置する。

④バックガード上面にミラーキャビネット本体を設置する。

※ミラーキャビネット本体の切欠部から電源コードを出すこと。



**注意**



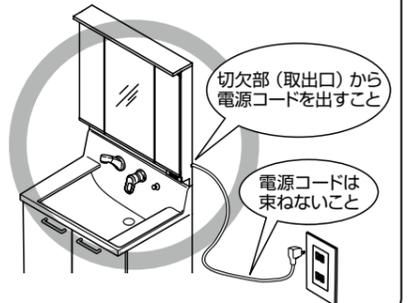
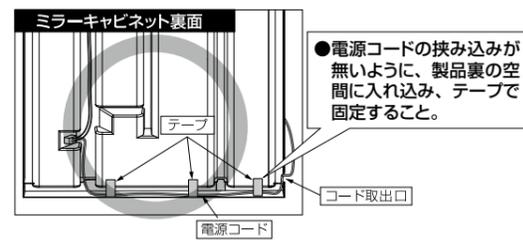
- 左右のチリを合わせる。
  - パッキンが十分につぶれること。
- ※浸水しやすくなります。

⑤ミラーキャビネット本体を壁にねじ固定し、化粧キャップを取り付ける。

※トレイを傷つけないよう注意してください。

**注意**

電源プラグ付コードは、取付方法に記載された指定箇所より取り出し、キャビネット本体と壁の間に挟み込まないようにする。

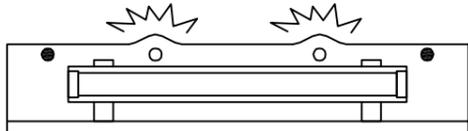


**【取付業者さまへ】**

○は他と穴径が違いますが、取付け用の穴です。確実にねじ固定してください。

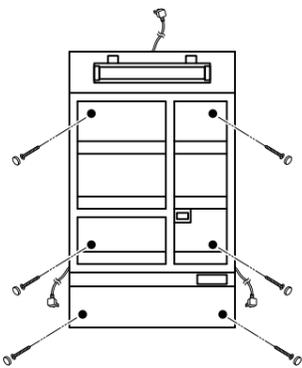
**注意**

- 部のねじは締め付けすぎないこと。
- ※ミラーキャビネット上面が変形する恐れがあります。



**■2面鏡（全収納タイプ）**

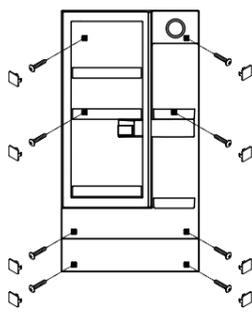
間口	600
平頭φ4.5×60mm	6本
化粧キャップ	6個



**■1面鏡（収納付タイプ）**

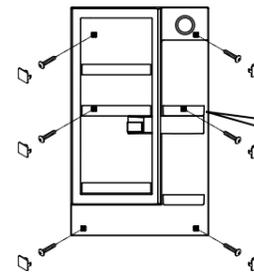
ロングタイプ(品番に「X」が付く)

間口	500
トラスφ4.0X50mm	8本
化粧キャップ	8個

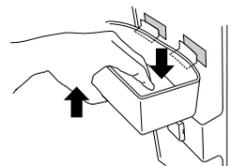


ショートタイプ(品番に「Y」が付く)

間口	500
トラスφ4.0X50mm	6本
化粧キャップ	6個



●トレイを取り外してからねじ固定すること。

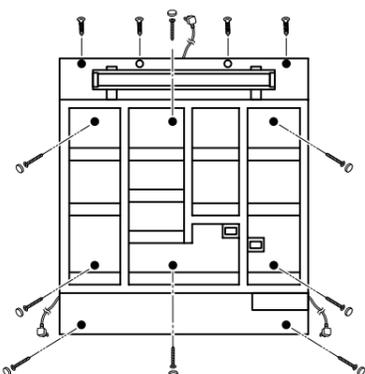


取り外す  
奥を押し下げながら手前を持ち上げ、収納トレイのツメを外す。

取り付ける  
収納トレイのツメを穴に引っかけて、取外しと逆の手順で取り付ける。

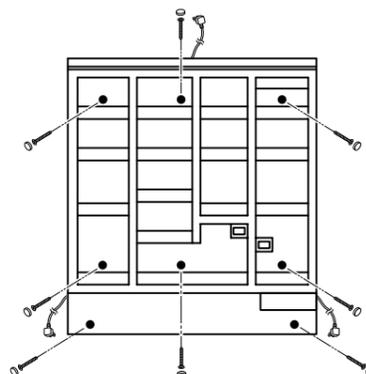
**■3面鏡（品番に「S」が付く）**

間口	750	900
平頭φ4.5×60mm	6本	8本
化粧キャップ	6個	8個
トラスφ4.0X50mm	4本	



**■3面鏡（品番に「J」が付く）**

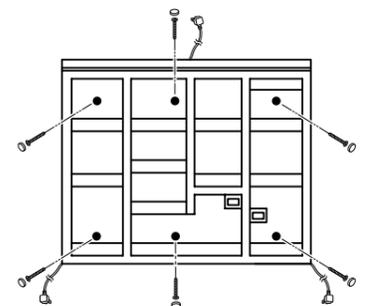
間口	750	900
平頭φ4.5×60mm	6本	8本
化粧キャップ	6個	8個



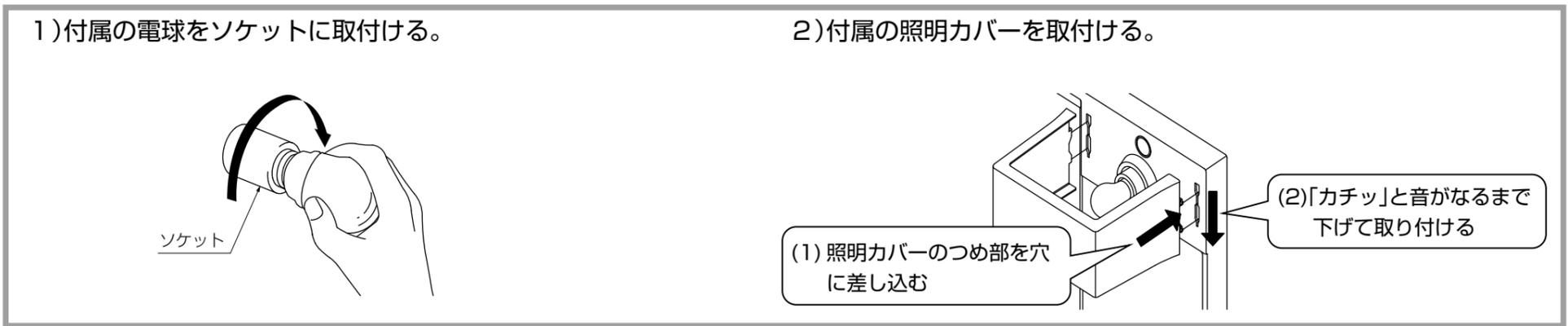
**■3面鏡（品番に「K」が付く）**

スマートポケット付き

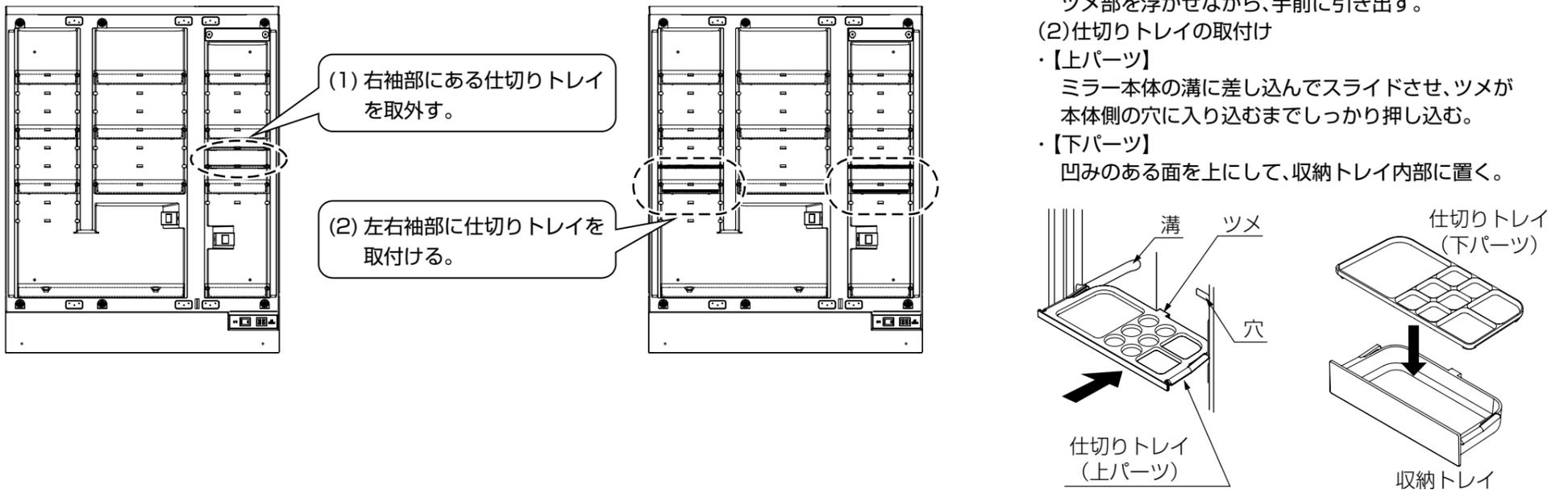
間口	750	900
平頭φ4.5×60mm	4本	6本
化粧キャップ	4個	6個



⑤-1. LED電球、照明カバーを取付ける。  
 <MAR3・MK1X4ー1面鏡（収納付タイプの場合）>



⑤-2. 仕切りトレイを取付ける。  
 <MAR3シリーズの3面鏡（品番に「J」が付く場合）>  
 <MK1X4シリーズの3面鏡・2面鏡>



## 直結配線の方法

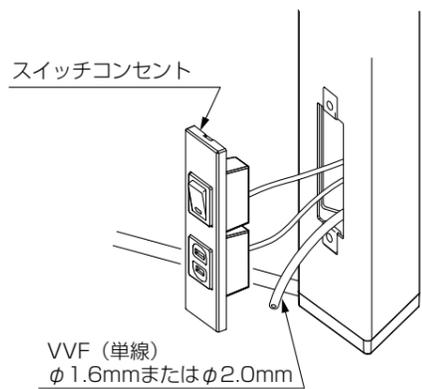
### 電気工事

**警告**

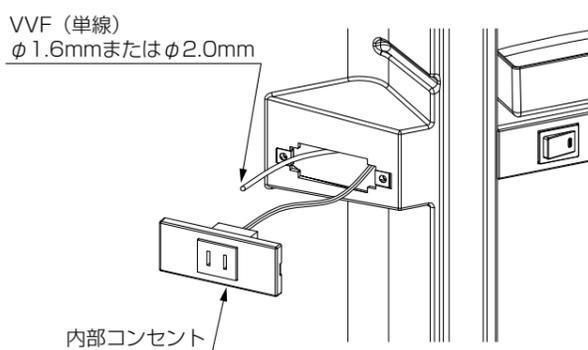
- 電気工事は電気設備技術基準、内線規程など関連する法令・規定に従って必ず電気工事士の資格を有する者が適切な方法で行ってください。  
 ※無資格者の工事や、電気工事士による不適切な工事は、火災や漏電を引き起こす恐れがあるほか、関係法令により処罰されることがあります。
- 取付けの際は必ずこの説明書に記載されている直結配線の方法に従って接続を確実に行ってください。標準タイプ（電源プラグ付コード仕様）では直接配線しないでください。  
 ※不適切な接続の場合は、火災や漏電の恐れがあります。  
 ※標準タイプから電源プラグ付コードを取り外すと、取り外す際に渡りコードが緩み、発熱、発火の恐れがあります。

①電源線が取り出され、以下の状態になっていることを確認する。

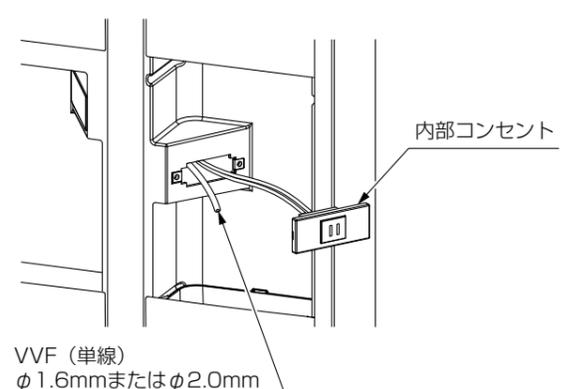
<1面鏡（大型鏡タイプ）>



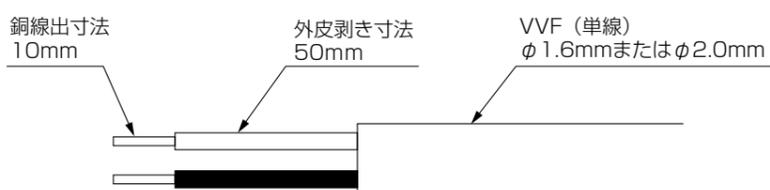
<1面鏡（収納付タイプ）>



<3面鏡・2面鏡（全収納タイプ）>



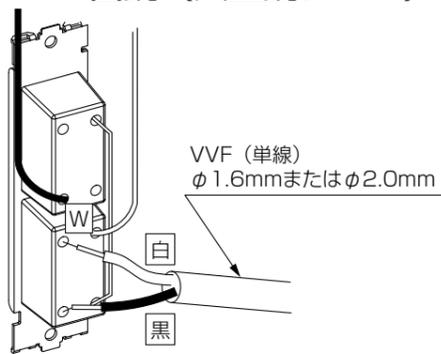
②電源線を以下のように加工する。



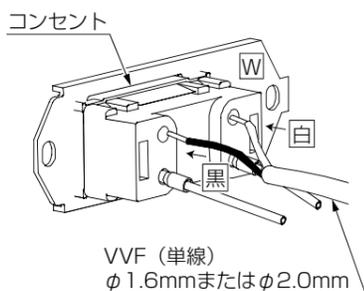
③電源線をコンセントの裏側に差し込む。

※先端が奥に突き当たるまで必ず確実に差し込むこと。

<1面鏡（大型鏡タイプ）>



<1面鏡（収納付タイプ）>  
<3面鏡・2面鏡（全収納タイプ）>



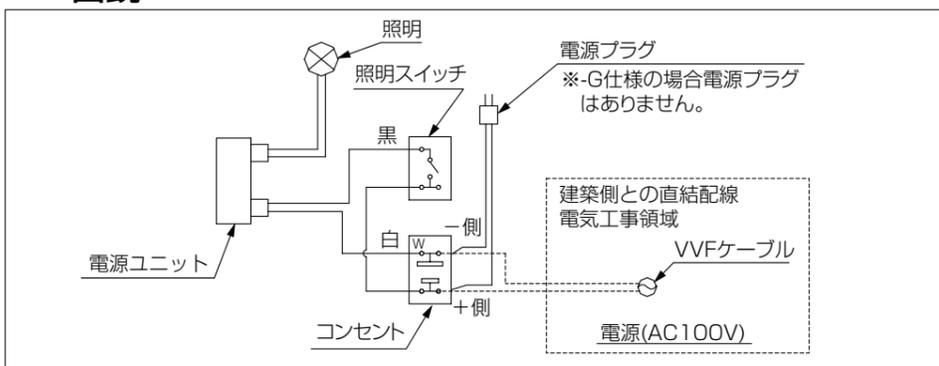
※一本ずつ軽く引っ張り、正確に接続されているか否か必ず確認すること。

④配線の中に収め、元通りに取り付ける。

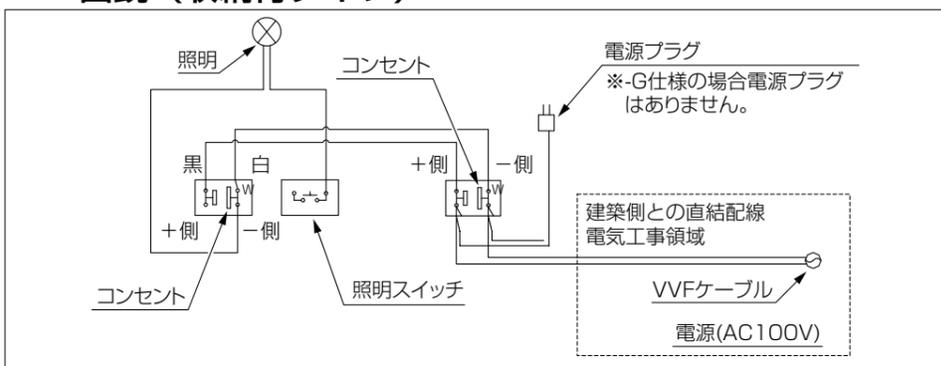
※電源線が長すぎて収まらない場合→コンセントから電源線を抜いて適切な長さに切断し、②からやり直してください。

■配線図

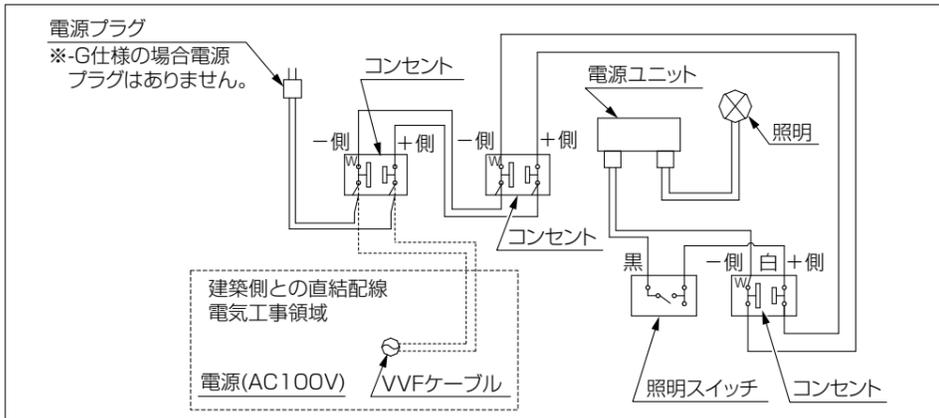
<1面鏡>



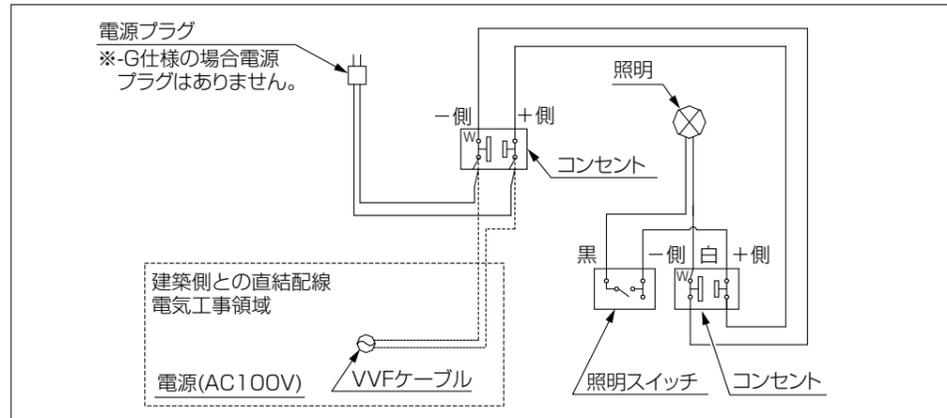
<1面鏡（収納付タイプ）>



<3面鏡（品番に「J」が付くLED照明）>



<3面鏡（品番に「S」が付くLED照明）・2面鏡（全収納タイプ）>



取付後の確認

■キャビネット本体の確認

- キャビネットの固定ねじが十分に締まっていること、緩みがないことを確認してください。
- キャビネット自体にゆがみ、ガタつきがないこと、壁とキャビネットに隙間がないことを確認してください。
- ミラーキャビネットと化粧台バックガード部に隙間がないことを確認してください。

■トレイの確認

- ガタつきなく取り付けられていることを確認してください。

■照明の動作確認

- ミラーキャビネットの電源プラグ付コードを建築側の電源コンセントに差し込み、スイッチボタンを押して、照明が動作することを確認してください。

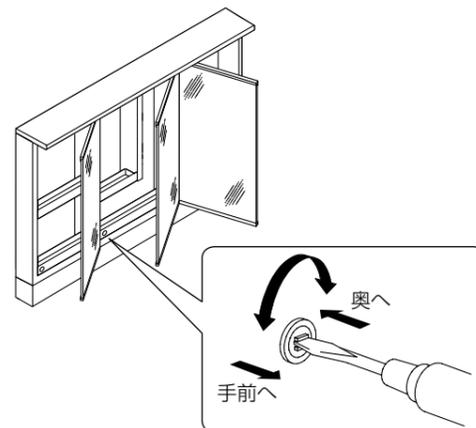
■鏡屏の確認

- 左右の鏡屏に段差がある場合は、必ずマグネットキャッチの調節を行い、鏡の前面を合わせてください。

[マグネットキャッチ調節方法]

マイナスドライバーで調節します。

- ・手前に出す場合…左に回します
- ・奥に入れる場合…右に回します



お願い

製品についた汚れは、柔らかいきれいな布でふき取ってください。